

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成26年12月18日(2014.12.18)

【公開番号】特開2014-131727(P2014-131727A)

【公開日】平成26年7月17日(2014.7.17)

【年通号数】公開・登録公報2014-038

【出願番号】特願2013-256349(P2013-256349)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 6 C

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成26年10月30日(2014.10.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

種々の図柄を変動表示する図柄変動表示手段と、  
複数種類の役を対象に内部抽選を行い、当選役を決定する抽選手段と、  
内部抽選の結果に基づいて、当選役の種類毎に割り当てられた各ビットに、当選した当  
選役を特定可能な当選役データを設定する当選役データ設定手段と、  
停止した図柄の組合せを特定可能なデータであって、前記当選役データの各ビットに対  
応するように割り当てられ、入賞した役を特定可能な第1停止結果データ及び前記当選役  
データの各ビットに対応しない第2停止結果データを含む停止結果データを、前記変動表  
示の停止に基づいて設定する停止結果データ設定手段と、  
前記変動表示の停止後に、前記当選役データと前記停止結果データとを照合し、その照  
合結果により正常入賞であるか否かを判定する入賞判定手段とを備え、  
前記入賞判定手段は、前記第2停止結果データをマスクして照合し、判定を行うことを  
 特徴とする回胴式遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の回胴式遊技機において、  
前記第2停止結果データが設定された場合、前回遊技と同じ遊技価値を付与して遊技を  
開始可能な再遊技役が通常よりも当選しやすい遊技状態に移行させることを特徴とする回  
 胴式遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

第1発明の回胴式遊技機は、種々の図柄を変動表示する図柄変動表示手段と、複数種類  
の役を対象に内部抽選を行い、当選役を決定する抽選手段と、内部抽選の結果に基づいて  
、当選役の種類毎に割り当てられた各ビットに、当選した当選役を特定可能な当選役デー  
タを設定する当選役データ設定手段と、停止した図柄の組合せを特定可能なデータであっ

て、前記当選役データの各ビットに対応するように割り当てられ、入賞した役を特定可能な第1停止結果データ及び前記当選役データの各ビットに対応しない第2停止結果データを含む停止結果データを、前記変動表示の停止に基づいて設定する停止結果データ設定手段と、前記変動表示の停止後に、前記当選役データと前記停止結果データとを照合し、その照合結果により正常入賞であるか否かを判定する入賞判定手段とを備え、前記入賞判定手段は、前記第2停止結果データをマスクして照合し、判定を行うことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

第2発明は、第1発明において、前記第2停止結果データが設定された場合、前回遊技と同じ遊技価値を付与して遊技を開始可能な再遊技役が通常よりも当選しやすい遊技状態に移行させることを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本実施形態の回胴式遊技機は、種々の図柄を変動表示する図柄変動表示手段と、複数種類の役を対象に内部抽選を行い、当選役を決定する抽選手段と、内部抽選の結果に基づいて、当選役の種類毎に割り当てられた各ビットに、当選した当選役を特定可能な当選役データを設定する当選役データ設定手段と、停止した図柄の組合せを特定可能なデータであって、前記当選役データの各ビットに対応するように割り当てられ、入賞した役を特定可能な第1停止結果データ及び前記当選役データの各ビットに対応しない第2停止結果データを含む停止結果データを、前記変動表示の停止に基づいて設定する停止結果データ設定手段と、前記変動表示の停止後に、前記当選役データと前記停止結果データとを照合し、その照合結果により正常入賞であるか否かを判定する入賞判定手段とを備え、前記入賞判定手段は、前記第2停止結果データをマスクして照合し、判定を行う。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

当選役データの各ビットに対応する第1停止結果データ及び当選役データの各ビットに対応しない第2停止結果データを含む停止結果データと、当選役データとを照合し、正常入賞であるか否かの判定を行う際に、第2停止結果データをマスクして照合し、判定を行うので、当選役データの各ビットに対応しない第2停止結果データが設定された場合でも、入賞判定を行うことができる。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

また、本実施形態において、前記第2停止結果データが設定された場合、前回遊技と同じ遊技価値を付与して遊技を開始可能な再遊技役が通常よりも当選しやすい遊技状態に移行させることが好ましい。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

第2停止結果データが設定された場合、遊技と同じ遊技価値を付与して遊技を開始可能な再遊技役が通常よりも当選しやすい遊技状態に移行させるので、確実に入賞判定を行いながら、再遊技役が通常よりも当選しやすい遊技状態に移行させることができる。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

この液晶画面6aには、遊技に伴う演出が画像により表示される。液晶表示装置6は、演出を表示する演出装置として機能する。例えば、当選役を入賞させるために遊技者に胴の押し順を報知するAT(アシストタイム)遊技状態においては、操作手順を遊技者に報知する主たる手段として働く。

【手続補正 14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0068

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 6 8 】

メインROM 4 0 1 aには、遊技動作制御プログラム（回胴式遊技機自体をどのように動作させるかが記憶されているプログラム）の他、回胴の停止制御の際に用いられる複数種類の停止制御用の停止制御テーブル（図示省略）、抽選により当選役を決定する際に用いられる抽選値テーブル（図 7 A 参照）、入賞役に応じた払出枚数が定義された払出枚数データテーブル（図 6 B 参照）が記憶されている。

## 【 手 続 補 正 1 5 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 7 3

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

## 【 0 0 7 3 】

また、メインCPU 4 0 1 cは、各遊技にて入賞した入賞役に対応する停止結果データを設定したり、上述の払出枚数データテーブルを参照して上記停止結果データに対応した遊技媒体（遊技価値）の払出枚数を設定したり、遊技媒体の払い出す制御も担う。したがって、メインCPU 4 0 1 cは、本発明の「停止結果データ設定手段」に相当する。